

平成23年9月16日

報道機関各位

日本液炭株式会社
東京都港区西新橋1-16-7
大陽日酸新橋ビル

ドライアイス製造設備増強に関わる投資について

この度、日本液炭株式会社（社長：渡邊秀生）においては、ドライアイス製造能力増強のため新たな設備投資を行なうことといたしましたので、下記の通りお知らせいたします。

記

1. 投資の概要について：

日本液炭（以下、当社）の東西2拠点においてドライアイス製造設備を増強いたします。投資額は合わせて12億円超となります。なお、設備の稼働はいずれも来春を予定しております。

1) 東日本地区：国際炭酸株式会社（社長：福島恒雄）

当社100%子会社である同社千葉工場（出光興産㈱殿千葉製油所構内）に、ドライアイスプレス機2基（50t/日）ならびにドライアイス加工（裁断・包装）ラインを同社自社設備として増設し、年間ベース換算で現能力の1.75倍に相当する28,000tのドライアイス製造能力に増強します。設備の完成・稼働時期は平成24年3月を予定しております。

2) 西日本地区：当社水島工場

三菱化学㈱殿水島事業所構内で稼働している当社水島工場にドライアイスプレス機2基（50t/日）を新設し、12,000t（年間ベース）の製造能力を持つドライアイス製造工場として全面リニューアルします。設備の完成・稼働時期は平成24年4月を予定しております。

2. 投資の経緯ならびに今後の事業展開について：

1) ドライアイスは、その優れた保冷力ならびに取扱いの簡便さが評価され、特に食料品等の低温流通分野においては年間を通して底堅い需要があります。当社として供給のベースとなるブロックドライアイス製造設備ならびに需要先の要求に応じた裁断加工設備の増強が必要と判断し、今回の投資を決定いたしました。

- 2) 特に、人口が集中し巨大消費地となっている首都圏における需要は増加傾向にあり、遠くは九州から不足分を輸送（当社ケース）しておりました。今回の国際炭酸における設備増強により、タイムロスの解消等の輸送効率化も含め需要先へのジャストイン供給態勢が整います。
- 3) また、水島工場をドライアイス製造専用へリニューアルする背景には旭化成ケミカルズ(株)殿水島製造所の炭酸・ドライアイス生産停止に伴う関西・中四国地域の需給混乱回避があります。新たな代替調達先として当社が独自に確保したJX 日鉱日石エネルギー(株)殿水島製油所の炭酸ガス源により、地域への安定的な供給体制を構築いたします。
- 4) ドライアイスの原料となる液化炭酸ガス（以下、LCD）の調達は、石油精製やアンモニア製造などの過程で併産される炭酸粗ガスに依存しています。上述の如く粗ガス調達先の様々な状況を掌握しつつ更なる安定供給に向けた調達計画を立案するとともに、需要が季節的に大きく変動するドライアイスの供給対応力強化に努めてまいります。

以上

本件についての問合せ先：

日本液炭株式会社 東京都港区西新橋 1-16-7 大陽日酸新橋ビル TEL：03-3500-0711 営業本部 ドライアイス営業部：小川部長 業務・生産本部 企画業務部：中内部長
--